



蓬原の子

志布志市立蓬原小学校
令和六年一月号
学校だより

わくわく登校 いきいき学び
にこにこ下校のよもぎっ子

「♪ 大空 青空 白い雲」ふるさとを思う
校長 西留 敦朗

一 大空 青空 白い雲
ゆめがはねてる おどってる
ぼくも わたしも 光りの子
蓬原台地の あげひばり
生命をたく 敬おうよ

二 麦田の 川の 西東
黄金の波の 立つところ
ぼくが わたしが 立っている
美田ひらいた 祖父たちの
あの根性で 立っている

三 采える 歴史 青々と
金木犀の 花香り
そうだ ぼくらは わたしらは
みんな精進 ふた葉の子
きょうも字ぶよ 急気たかく
あ、蓬原小学校 万才

飛躍を期待できる、天にも昇る辰年の始まりです。保護者・地域の皆様も穏やかに新年をお迎えの事と思えます。

さて、朝の冷え込みは厳しいですが、寒さにも負けず、蓬原の子どもたちは、元気に三学期の学習に励んでいます。

校の時に何度も歌っていた校歌です。覚えてしまっていることでしょうか。多くの校歌には、地域の自然や情景を描いた歌詞が含まれています。生まれ育った故郷の環境を思い出し、懐かしい気持ちにしてくれるので、歌詞を口ずさむことで小学校生活や友を思い出します。

ところで、本校の校歌の歴史は浅く、昭和四十六年に今の校歌が出来たようです。校歌がなかった時代が百年ほどあったことになりました。私は、歌詞の中で「光りの子（蓬原の宝）」「黄金の波（稲穂）」「美田ひらいた（開拓）」「金木犀（校木）」「万歳（感謝）」等の思いがあり、歴史・伝統を伝えるふるさとを思う自慢の校歌だと思います。

二学期の始まり

二〇二四年のスタートです。年の初めに、能登半島地震や羽田空港 航空機衝突・炎上事故があり、お亡くなりになられた方、けがをされた方、心を痛められた方々に哀悼の意を表します。一月九日、三学期が始まりました。蓬原小には、子どもたちの元気な姿が帰ってきました。目の前に起こる様々なことに対応する力を培って行かなければならない時代です。今年も、皆さんのご支援を頂きながら蓬原小職員一丸となつて頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。

よもぎっ子俳句の表彰

昨年度末に「秋のよもぎっ子俳句」の表彰式を行いました。受賞作を紹介します。

- 一年 **じいちゃん**と **やきいも**いっしょに
- 二年 **おいしいな**
- 二年 **すずむしが** **りんりん**なくよ **きれいだ**ね
- 三年 **秋の夜** **星と光**と **すずし**さと
- 四年 **ぶどうがり** **一番いい**のを **見つけ**たよ
- 五年 **見るたびに** **夢と希望**を **流れ**星
- 六年 **いわし**ぐも **雲の行列** **遠足**だ



タオルの寄贈

さんより企業や宣伝用のタオルを集められたものを寄贈していただきました。学校をきれいにしたり、ミシン操作学習の練習用にしたたりして、有意義に活用させていただきます。有り難うございました。



お茶の入れ方教室(五年生)

私たちの有明町は、有明茶の産地としておいしいお茶の生産が盛んです。十二月六日(水)は、五年生を対象においしいお茶の入れ方教室が開かれました。講師には、本校の先輩もいました。鹿児島には「茶いっぺ」の言葉もあるように、もてなしや交流の場面によく飲まれていきます。子どもたちは、湯の温度、蒸らしの時間、注ぎ方の順序など、多くのことを学びました。きつと、自分でお茶を入れる機会も増えることでしょう。



学級園の苗植え

学級園では、春の開花に胸膨らませながら、苗植えをしました。一年生は、アリスラム、ビオラ、キンセンカ、ポピーなど、丈夫に育った苗を丁寧に植えていきました。他学年の花壇もきれいに苗がそろいました。草取りもみんなと一緒に頑張っていました。



焼き芋食べたよ(一・二年)

五月に植え、十月に収穫したサツマイモをねかせて十二月に焼き芋にしました。ストーブに鍋をおき、石を敷き詰めてじっくり焼き上げました。辺りにお芋のいい匂いが漂いました。アルミホイルから取り出した黄色のお芋は、湯気を立てています。笑顔いっぱいの子どもの横一列に並んで、ほくほくの焼き芋をおいしく頬張っていました。農園での作業には地域の皆さんにご支援・ご協力頂きました。有り難うございました。



【2月行事予定】

- 7日(水) なわとび発表会
- 10日(土) 1/2成人式(4年生) 家庭学習強調週間(7~13日)
- 16日(金) がんがらちゃん
- 20日(火) 授業参観⑤ 学級PTA
- 22日(木) 4時間授業の日(13:00下校)

